



吉井しづ子さん作

ほ
う
き
さ
ん
月
2017年

棕本673 存仁寺

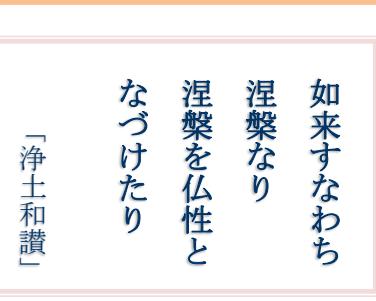
「淨土和讚」

如來すなわち

涅槃なり

なづけたり

涅槃を仮性と



一年頭の辞一

冷たい風の中、でも蝋梅に遅れないよう梅が小さな花を咲かせています。季節は「立春」に移つてきました。前日は「節分」といわれます。季節を分けるということですから春夏秋冬それぞれにあります。ただ立春の折には豆が捲かれたり最近では、「恵方巻き」なる物が毎日のように食品の広告に出でています。関西の方から発生したという、「ええ方角を向いて、巻き寿司を食べると、ええことがある」と、まことに語呂合わせとはいえ誰もが「ええこと」にありつけたいものらしい。ならば年に四回、巻き寿司の販売をすればいいではないか。アメリカでは、トランプ氏が第四十五代合衆国大統領に就任された。早くも政策によつて右へ左へ、上に下にと経済も、人々も、マスコミも毎日のように煽り立てられ、動搖され、不安と失望と恐怖をおぼえています。私自身がどうこの人生を生きていくのか、親鸞聖人はお弟子にあてた言葉に『何が善であり何が悪であるのか、そのどちらもわたしはまったく知らない。なぜなら、如来がそのおこころで善と思いになるほどに善を知り尽くしたのであれば、善を知つたといえるであろうし、また如来が悪とお思いになるほどに悪を知り尽したのであれば、悪を知つたといえるからであるしかしながら、わたしどもはあらゆる煩惱をそなえた凡夫であり、この世は燃えさかる家のようにたちまちに移り変わる世界であつて、すべてはむなしくいつわりで、眞実といえるものは何一つない。その中につき、ただ念佛だけが眞実なのである」と仰せになりました』（「歎異抄」現代語訳）とあります。様々なものに左右され、執着し、悩み多き人生の中、しかも一度きりであり、後戻りできないのちならば、眞実を依りどころにさせていただく、お念佛に聞き、問ひ生きていたいことです。

あの娘はいつも哀しい位 ひとりぼっちで部屋の片隅でうずくまつてた
誰かが自分を救いに来るのをじっと待ってるけど 誰も来ないと判つてた
人には黒く見えるカラスが 自分には白く見えてしまう
黒く見ようと努力したのに 人は大声で聞いてくる
※何故 嫌いですか 何故 好きですか 左ですか 右ですか
ああ 聴こえない ああ 届かない 自分の夢がわからない ああ
何が 正しくて 何が 嘘ですか 一〇〇じゃなければ〇ですか
ああ聴こえない ああ届かない 自分の夢がわからない ああ
自分に正直に生きるなら 風に逆らって生きるのなら
居直る事が勇気だなんて 自分に甘えるのはおよし
※ 繰り返し
「不良少女白書」さだまさしさん

「如來すなわち涅槃なり涅槃を仮性となづけたり」

二月の法語は『淨土和讚』の「如來すなわち涅槃なり涅槃を仮性となづけたり凡地にしてはさとられず安養にいたりて証すべし」（如來はすなわち涅槃である。この涅槃を仮性と申しあげる。凡夫には、これをさとることができない。淨土に至つてはじめてさとることができる）からの言葉です。「如來」とはさとりを得られた仏がはたらきでている、さとりの眞理が生きとし生けるものを迷いの世界からさとりへと救うはたらきであります。「涅槃」とは、煩惱の火が吹き消された静かな境地を意味し、さとり（正覺）を意味します。また、「仮性」もさとりを得られた仏の本性ということです。しかし、私たちは煩惱の世界にどつぶりつかつていてとても、仏・如來の境涯を知ることも感じることもできません。阿彌陀さまの大慈悲のはたらきを聞き、いただいてこそ、淨土への道を歩ませていただくことができ、「安養」（極樂淨土）に往生してさとり（正覺）を得ると知らせていただくのです。

2月の行事

- 1日(水) 6時30分 おあさじ
2日(木) 13時30分 コーラス
5日(日) 13時30分 佛教婦人会報恩講法要
16日(木) 6時30分 おあさじ
13時30分 無量寿会例会
19日(日) 正月汁 上組
26日(日) 還暦のお祝い



3月の行事

- 1日(水) 6時30分 おあさじ
2日(木) 13時30分 コーラス
5日(日) 鈴鹿組二十五日講法要 真福寺様
12日(日) 10時 日曜学校・子ども会
16日(木) 6時30分 おあさじ
13時30分 無量寿会追悼法要
18日(土) 19時 佛教壯年会例会
春彼岸 17日～23日



宗派・教区・鈴鹿組関連

- 13日(月)～16日(木) 名古屋別院報恩講法要
13日(月) 佛教婦人会別院参拝
11日(土) 鈴鹿組僧侶研修会・法中会
「障礙者差別解消法」について
19日(日) 第20期鈴鹿組連続研修会 9時
「現代人の宗教」西正寺様
23日(木) 東日本大震災七回忌法要と
教区寺院女性・本派社推協研修会
「東日本大震災の経験に学ぶ」



佛教婦人会班長会



報恩講について、事業報告等
総会に向けての確認事項など話し合いが持たれました。
2月13日名古屋別院報恩講
参拝があります。また、2月7
日は「如月忌」です。

無量寿会新年会 例年の如く無量寿会新年会が持たれました。岡田さん調声による「正信偈」おつとめの後、井関会長挨拶、住職おはなし、保地さんがお礼の挨拶とお話しをしてくださいました。そして百人一首



坊主めくりをしました(来年からは姫めくりとしましょう)。
庫裡に移り、食事をとりながらゲーム手品など楽しいひと時。



佛教婦人会報恩講法要

2月5日(日)午後1時30分より
法話 大阪市 小林顯英師

※法要後総会がありますので会員さんには引き続き
ご出席の程、宜しくお願ひいたします。

還暦のお祝い

2月26日(日) 午後3時より還暦のお祝いを持たせていただきます。今年は昭和31、32年(1956、57年)生まれの方にご案内します。

お念佛のひろば ご案内

毎月17日津市丸の内正覚寺様にて聞法のご縁、「紫雲会」が開催されています。
おつとめ 午前10時30分
午前の部 午前11時から12時30分
午後の部 午後1時30分から3時
聴講費 700円

2月17日(水)『念佛もうさんとおもいたつ心』
滋賀・東光寺 守快信師

教区佛教婦人会研修会 東海教区佛教婦人「御同朋」の社会をめざす運動研修会が蒲郡のホテル竹島で開催されました。総勢150名の参加、存仁寺からは6名が参加しました。「身のまわりにある、いじめや差別について考えてみよう」のテーマのもと講師による問題提議、20班に分かれて話し合い法座が持たれました。夕食懇談会では海の幸に舌鼓をうち、組での手の込んだ余興など楽し



いひと時、温泉で一日の疲れを癒しました。あさじのお勤め、ご法話を聴聞し、朝食後まとめのお話と2日間の研修を終えました。